

- 平成 20 年度事業経過報告 (1) -

1 運営経過報告

これまで、中越大震災や中越沖地震を被災したことにより、安心・安全の地域づくりを推進するため様々な活動に取り組んでまいりましたが、平成 20 年度は地域の復興を進める上で大きな節目の年になりました。

○ 北条ふるさと市場「暖暖」のリニューアルオープン

平成 19 年 9 月より、中越大震災復興基金事業補助金を活用し、これまでのコミュニティ計画を見直し、新たな視点を加えながら復興基本構想を策定してまいりましたが、このたび「北条地区コミュニティ復興基本計画」が完成いたしました。中でも「暖暖」の整備は、地域の自立的復興を図るために先導的に実施する事業と位置付け、補助金（地域復興デザイン先導事業支援）を活用して 11 月 9 日にリニューアルオープンすることができました。

これまでの「暖暖」は調理場・売り場ともに狭く、地域住民のニーズに応えられないといった課題が多々ありましたが、大規模改修により厨房は機能的かつ衛生的な環境に生まれ変わったことにより、全地域を対象とした高齢者の食の確保は可能になりました。また、喫茶・交流スペースの新設は地区民が集い、語り合う場ができるようになりました。オープンして 4 カ月が経過しましたが、暖暖情報が少なく活動内容が分からないという声も聞こえてきます。一つひとつの課題をクリアしながら、「暖暖」の理念実現に向けて取り組んでまいります。

○ 北条つらなすの会の発足

「つらなす」を特産化・ブランド化し、地域の宝物に育てようとして取り組んでまいりましたが、そのためには更なる生産体制の強化が必要と、「北条つらなすの会」を発足。本格栽培に向けての第一歩を踏み出しました。併せて、販路開拓の場として有効な効果が狙える「FOODEX JAPAN 2009」(国際食品・飲料展)に出展したことは、「つらなす」の情報発信と商談に結びつく絶好の機会となりました。

この事業も地域の活性化と震災復興の一環として地域復興支援事業（地域特産化・交流支援）の補助金を受けております。次年度は栽培本数が 1,200 本（今年度は 800 本）となりますが、単に生産量や消費量の拡大ではなく、地域の誇りあるブランドとしての安心・安全の希少性ある地域野菜として提供してまいります。

○ 北条毛利いにしえロードの看板整備

北条氏は、毛利氏が北条に土着して名乗った姓で西国大名安芸毛利氏のルーツとなる名門。上杉謙信亡き後、その後継を巡る争乱「御館の乱」で上杉景虎の有力武将として活躍した北条高広・景広父子ら北条毛利氏の史跡の案内看板を設置しました。幸いにも、NHKの大河ドラマ「天地人」には初回から北条高広（俳優・新井康弘さん）が登場したことで、郷土が誇る歴史に関心が高まりました。看板は JR 北条駅を起点に、城址一帯を巡る散策コースに「北条毛利いにしえロード」と名付けました。今後は、そのコースを絵図や年表で分かりやすく紹介するリーフレットの作成やボランティアガイドの育成に努めてまいります。

○ 第 3 回 震災復興スノーフェスタ in 北条の開催（最終年）

2 度の地震を契機に「絆」をキーワードにして、住民の心をより強く結びつけて地域の防災力を高めるとともにご支援いただいた方々に感謝するイベントとして開催してきました。

今年度は復興基金導入 3 年目の最終年。防災クイズやゲームで楽しく防災を学び、絆とフェニックスのイルミネーション、スターマイン 2 本と 70 発の花火を打ち上げ、復興への気持ちを新たにしました。

2 活動報告

(1) 会議等実施報告

| | |
|---------------|---|
| コミュニティ委員会（総会） | 4 / 27 (44人出席) |
| 常任委員会（5回） | 9 / 17、10 / 15、11 / 5、1 / 14、1 / 29 |
| その他 | 会計監査 4 / 14 |
| | 三役会議 1 / 7 |
| | 復興デザイン策定会議 6 / 16、7 / 15、8 / 11、9 / 7、9 / 8 |
| | 10 / 8、10 / 28、12 / 11、1 / 24 |
| | 2 / 15、3 / 7 |
| つらなす関係会議 | 5 / 8、6 / 18、7 / 1、7 / 27、7 / 28 |
| | 8 / 10、9 / 29、10 / 24、12 / 14 |
| | 12 / 25、1 / 19、1 / 30、2 / 16、3 / 30 |
| スノーフェスタ会議 | 1 / 29、2 / 2、2 / 3、2 / 8 |
| 体育祭代表者会議 | 4 / 24、5 / 13 |
| 民謡流し代表者会議 | 7 / 7 |